

1 取組の概要

- ✓ 県内全77市町村と長野県が協働して運営する電子書籍サービス「デジとしょ信州」をR4年8月にスタート！
- ✓ 県内の全市町村と県が協働で一つの電子書籍サービスを導入するのは「全国初」。
- ✓ 市町村の公共図書館・公民館図書室だけでなく、教育委員会やDX担当部署、更にはそれぞれのつながりを活かして多様なステークホルダーが連携。

2 取組ポイント（工夫した点など）

- ✓ 事業方針を決定する全体会議のほか、市町村を主体とした部会やチームを設置し、具体的な運用方法等について検討。所属や役職を問わず多様な立場の職員が集まり、オンラインミーティングでの対話を積み重ねている。
【会議開催回数】R3年度※8か月間：50回以上、R4年度：75回（11月末時点）
- ✓ DX推進課の協力により、前例の無い78自治体による単一サービスの運用を実現するとともに、県立図書館における利用者登録や連絡・調整事務にRPAを導入し、業務を効率化。

3 成果

- ✓ 長野県内66自治体の106図書館・図書室が利用申込窓口を開設（11/30現在）し、住民の皆さまに電子書籍を身近に感じていただける利用支援を実現。
- ✓ 運用開始3か月時点での利用者数約8,300人、累計貸出数約27,000冊。
- ✓ 「夏のDigi田甲子園」【実装部門(中核市等)】の長野県代表に選出。結果、全国第5位！

4 今後の取組の方向性

- ✓ 読書バリアフリーの推進や学校教育との連携の強化を通じて、誰ひとり取り残さない公正な社会づくりへの貢献を目指します！
- ✓ 地域出版業界等と協力し、地域資料のデジタル化を推進。みんなで育てる「all信州電子図書館」を目指します！



1年以上にわたり、多様な立場の関係者が粘り強く対話し続け、数々の困難を乗り越えてきました！



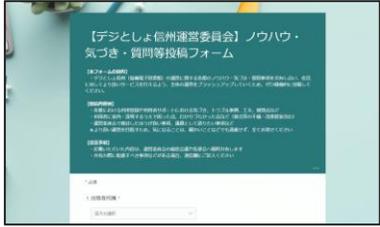
デジとしょ信州 利用案内
(県立図書館HP)

デジとしよ信州における協働・共創の事例（一部）

協働運営体制

DX推進課のノウハウを活用！

- デジとしよ信州の運営に関する気づきや質問は **Forms**で集約。**PowerAutomate**を活用して事務局（県立図書館）だけでなく総括会議など市町村メンバーにも**即時に共有**
- 各図書館の**広報事例**や**アイデア**は、メーリングリストや**図書館関係者ポータル**で共有



図書館フォーラム

信州発・これからの図書館フォーラム
 「電子図書館、どう育てる？」（R4.9.3開催）



図書館関係者だけでなく、出版業界や県内印刷会社や書店、電子書籍に関心のある県民の方々など、リアルとオンラインで**約100名**が参加。本の「つくり手」「よみ手」「つなぎ手」など、**多様な立場の方々が集まり、「みんなで育てる」視点で電子図書館について対話する**機会になりました。



フォーラム
 イベント案内
 QRコード

「夏のDigi田甲子園」

県民の方々にボランティアで
 ご協力いただき一緒に作成！

県内図書館や自治体が連携して
 みんなで盛り上げ！

結果、**全国第5位!**
 惜しくも入賞は
 逃したけれど...

**Digi田甲子園をきっかけに
 メディアに多数掲載!**

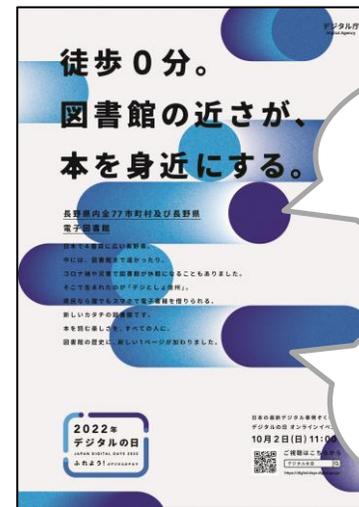


デジとしよ信州
 1分間紹介動画 (YouTube)

デジとしよ信州サービス開始セレモニーで
 市長さんも投票を呼びかけてくださいました！



各図書館・自治体のSNSや
 館内ポスターでも広報



デジタル庁
 「デジタル月間」(10月)
 広報ポスターにも起用
 ※全国8事業のうちの1つに選定

「図書館の歴史に、
 新しい1ページが
 加わりました」

R3年度：事業検討の推進体制（WG）

長野県先端技術活用推進協議会（事務局：DX推進課）

長野県図書館協会

公共図書館部会

市町村と県による協働電子図書館(仮称)
協働構築研究WG

WGリーダー

会議の招集/ WG運営に関することなど

県立長野図書館長

WGサブリーダー

市町村のとりまとめ/ R4チーム運営に関することなど

坂城町立図書館長

WGメンバー

情報提供、意見調整/ 事業参加検討/ 提案・意見/ 資料作成など

76団体 ※R4,2/8現在
19市23町30村+2広域連合+自治振興組合+県

連携協力

- R3年8月キックオフ
発足当初の参加団体：36
- 作業チームミーティング多数
(仕様策定、利用登録、
選書、利用支援・広報)
- 自治体向説明会開催
- 各地区図書館関係会議
- 教育長会議、市長会、町村会、
自治振興組合、市町村振興組
合等への説明
(宝くじ助成金へ繋がる)
- 公共図書館部会から県等への
要望
- 各自治体での予算確保の努力

これからの公共図書館研究会

デジタル活用

資料活用・レファレンス

図書館サービス計画

学びのプログラム・学校連携

WGは公共図書館を
設置していない自治体にも
参画してもらえる枠組み

R4チームミーティング (TM)

R4作業チーム (作)

総括チーム

利用登録方法チーム

選書方法チーム

仕様チーム

利用者支援・広報チーム

R4年4月～：運営委員会体制（全体会議・総括会議・部会＋チーム）

市町村と県による協働電子図書館 運営委員会

運営委員長

外部団体（メディア・組織等）折衝 / 委員会の招集

県立長野図書館長

運営委員会副委員長

事業のとりまとめ・委員会内意見調整

市町村の運営委員から互選

運営委員会委員

事業検討 / 資料作成 / 情報提供、意見調整など

信州協働電子図書館に参加する団体

+県 +オブザーバー

（事務局：県立長野図書館）

全体会議（全ての参加団体）

「運営委員会要領」第3条に定める
運営委員の1/2の出席により成立
重要事項の決定機関

「運営委員会要領」第4条に定める

運営委員長、副委員長、各部会長、
参加団体及び長野県の推薦する者

総括会議

議長：運営委員会副委員長
実務面の決定機関
10名程度

読書バリアフリー

チーム員：3名

学校連携

チーム員：6名

オリジナルコンテンツ

チーム員：4名

「運営委員会要領」第5条に定める

利用登録部会

部会員：6名

- ・利用者ID、利用登録にかかる事項
- ・利用者登録に関する要綱、手順等の策定

選書部会

部会員：15名

- ・コンテンツの選書
- ・コンテンツ選書に関する規則、基準等の策定
- ・特集棚の設定
- ・上記にかかる職員研修

利用者支援・ 広報部会

部会員：11名

- ・メディアでの広報対応
- ・愛称、ロゴの検討
- ・利用者向け案内、広報物作成

システム部会

部会員：5名

- ・システム運用
- ・利用統計分析
- ・上記に関する職員研修
- ※各部会から必ず1名参加

「運営委員会要領」を改正（2022/11）
→部会を横断する課題解決チームの設置を第5条に定める

目指していききたい将来像

みんなで学ぶ・みんなで作る 「all信州電子図書館」= 地域創生へ

